

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 080	提案機関名 湘南農業協同組合
要望問題名 菌床シイタケの経済性指標作成について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当JA管内では、きのこ部会があり、9名で菌床シイタケの栽培を行っており、年間を通じて安定的に販売され、直売品目としても有望である。シイタケは、かつて、原木栽培が一般的であった。しかし、東日本大震災を機に菌床栽培へ切り替わった。原木栽培は、キノコを栽培するため重い原木を多数管理しなければならず、原木にドリルで穴を空け種菌を植え付け林等でキノコを発生させるため、重労働でしかも気象条件により発生時期や発生数が左右された。菌床栽培の導入により軽労化が図られ出荷時期も拡大されたが、近年、重油代の高騰、資材の値上げ等により経費が増大した。 今後、他の品目から菌床シイタケ栽培を希望する栽培希望者に対して、導入のための指標が必要となる。そこで、菌床シイタケ栽培の経済性指標の作成について検討願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター   ②畜産技術センター   ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	自然環境保全センター 農業技術センター	担当部所	研究企画部 企画経営部
対応区分	①実施   ②実施中   ③継続検討   ④実施済   ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合)			
対応の内容等 自然環境保全センター研究部門では、現在きのこ生産に関することを試験研究課題として設定しておらず、担当できる研究員も配置していない状況であり、解決希望年限内に実施することは困難です。 なお、林業普及指導を所管する森林再生課と調整の上、ご要望の「菌床シイタケの経済性指標作成について」、農業経営に係る研究員が在席する農業技術センターへ協力等を依頼してまいります。  農業技術センターでは、試験研究課題を設定し、実施することはできません、林業普及指導職員による菌床シイタケ栽培の経済性指標作成を支援することは可能ですので、林業指導部署から相談があった場合には対応します。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			